

SENDAI NEW PHILHARMONIC ORCHESTRA

仙台ニューフィルハーモニー 第74回定期演奏会

M. グリンカ

歌劇「ルスランとリュドミラ」序曲

楽譜協力：JAOミュージックライブラリー

S. ラフマニノフ

ピアノ協奏曲第2番ハ短調

楽譜協力：JAOミュージックライブラリー

V. カリンニコフ

交響曲第1番ト短調



指揮

新田 ユリ



ピアノ独奏

ジョンファン・キム

第8回仙台国際音楽コンクール4位入賞
聴衆賞受賞

2023 **11.3** FRI. 17:00開場 17:30開演
東京エレクトロンホール宮城 大ホール

一般 ¥1,000 高校生以下 ¥500 [全席自由]

当日券あり(同料金) ※当日券のご予約、お取り置きはいたしかねますのでご了承ください。

プレイガイド／藤崎 022-261-5111・仙台三越 022-225-7111・カワイ仙台 022-261-2851・日立システムズホール仙台 022-727-1875
仙台銀行ホールイズミティ 21 臨時事務所 022-375-3101・東京エレクトロンホール宮城 022-225-8641

主催／仙台ニューフィルハーモニー管弦楽団

共催／(公財)仙台市民文化事業団(仙台国際音楽コンクール事務局)

後援／宮城県・仙台市・宮城県教育委員会・仙台市教育委員会・(公財)宮城県文化振興財団・河北新報社・朝日新聞仙台総局・毎日新聞仙台支局・読売新聞東北総局
産経新聞社東北総局・仙台リビング新聞社・仙台放送局・TBC東北放送・エフエム仙台・S-style・RADIO

お問い合わせ先／仙台ニューフィル事務局 (022-375-9654 熊谷方) 公式ウェブサイト／<https://jurassic.fool.jp/sendainewphil/>



公式ウェブサイト



指揮 新田 ユリ *Yuri NITTA, conductor*

1990年ブザンソン国際指揮者コンクールファイナリスト、1991年東京国際音楽コンクール(指揮)第二位受賞。東京交響楽団を指揮してデビュー。2015年～2020年愛知室内オーケストラ初代常任指揮者を務める。

近年は北欧音楽の演奏・研究を活動の柱の一つとしており、2000年10月から1年間文化庁芸術家在外研修生としてフィンランド・ラハティ交響楽団にて音楽監督オスモ・ヴァンスカのもと研鑽。以後日本とフィンランドを拠点として活動を続け、クオピオ交響楽団、ミッケリ市管弦楽団、ヨensuu市管弦楽団、クリスチャンサン管弦楽団、フィンランド国防軍吹奏楽団、フィンランド海軍吹奏楽団、ラ・テンペスタ等北欧各国のオーケストラに客演。

2017年には南デンマーク・フィルハーモニー管弦楽団に客演し、ニルス・ゲーゼ生誕200年を記念したオールデンマークプログラムの定期公演を指揮。フィンランドの歴史ある音楽祭からも招聘され、2005年～2007年オウルンサロ音楽祭、2006年・2013年・2019年リエクサ・プラスウィークで指揮をする。

初代常任指揮者を勤めた愛知室内オーケストラとは、デンマークの作曲家ニルス・ゲーゼの交響曲を積極的に取り上げるなど、北欧作品と中欧の文化を繋げたプログラミングなど特色ある活動を展開。2019年夏にはフィンランドの歴史ある音楽祭、リエクサ・プラスウィークに招聘を受けオーケストラ初の海外公演となるフィンランドツアーを成功させた。

また海外の著名ソリストとの共演も多く、ゲルハルト・オピッツ、シブリアン・カツァリス、マキシム・ヴェンゲーロフ、ダニエル・ゲーデ、ティボール・ギエンゲ、ヨウコ・ハルヤンネ、オイスタン・ボーズウィーク、ワルター・アウアー等世界的ソリストと共演する。

国内に於いては、東京交響楽団、東京都交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、東京シティフィルハーモニー管弦楽団、札幌交響楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団、群馬交響楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、千葉交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、セントラル愛知交響楽団、アンサンブル金沢、京都市交響楽団、京都フィルハーモニー室内合奏団、大阪フィルハーモニー交響楽団、関西フィルハーモニー管弦楽団、広島交響楽団へ客演。

オペラでは、大田区民オペラ協議会、横浜シティオペラなどを指揮するほか、東京二期会、モーツァルト劇場でアシスタントを務める。

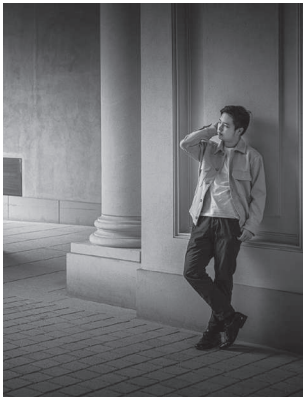
吹奏楽の分野でも、東京佼成ウインドオーケストラ、大阪市音楽団、シエナ・ウインドオーケストラ、東京吹奏楽団などの公演や録音の指揮をする。

国立音楽大学と桐朋学園ディプロマコースにおいて尾高忠明、小澤征爾、秋山和慶、小松一彦各氏に師事。1995年～2020年、母校国立音楽大学にて後進の指導にあたった。

現在、桐朋学園大学指揮科特任講師、愛知県立芸術大学非常勤講師、相愛大学非常勤講師を務める。日本シベリウス協会第3代会長。アイノラ交響楽団正指揮者。

著書に「ボホヨラの調べ」(五月書房新社)。

公式ウェブサイト <https://www.yuri-muusikko.com> (森と湖の詩)



ピアノ ジョンファン・キム *Jeonghwan KIM, piano*

2000年ソウル生まれ、6歳よりピアノを始める。

その後、国内のコンクールで数々の優勝を果たした事により、わずか9歳で“才能ある若い音楽家の為のソウル・アーツセンター・アカデミー”に入学。

2011年にベルリンに移住して以来、彼は一流の国内外のピアノコンクールで高い評価を得続けている。2014年と2015年にはJugend Musiziertコンクールにて2度1位を獲得し、2017年、ワイマールで開催された若いピアニストのための国際リストコンクールで2つの特別賞とともに3位を受賞。2019年にはデンマークで開催されたオーフス国際ピアノコンクールで優勝し、オーフスとオーデンセの交響楽団との演奏会に招待された。以来、ベルリン、ワイマール、ハンブルク、オーフスなどの主要ホールでコンサートを行っている。

2022年には、3つの賞を受賞している。1月にはベルリンで行われたメンデルスゾーン全ドイツ音楽大学コンクールで第1位。5か月後の6月には仙台国際音楽コンクールピアノ部門で4位入賞と聴衆賞を受賞。その後2023年7月にはシドニー国際ピアノコンクールで第1位の他、バルトークの協奏曲第2番の演奏と全協奏曲を通しての演奏で最優秀賞を受賞。

2017年より、ハンス・アイスラー音楽大学でコンラート・マリア・エンゲル教授のクラスで学んでいる。過去にはソヨン・チェ、レダ・キム、トマス・ジャストにも師事。また、ヤコブ・ロイシュナー、ボブ・フェアシュティエグ、ロバート・レヴィン氏らのマスタークラスにも参加している。

その他、ステファン・イモルド、コンスタンティン・ハイドリヒ、アンティエ・ヴァイトハース、ジョナサン・アナー氏らが彼の芸術的発展に大きな影響を与えている。

仙台ニューフィルハーモニー管弦楽団

Sendai New Philharmonic Orchestra



1981年9月、約20名の弦楽器奏者によって創立される。以来42年、現在は団員数約80名の成熟した市民オーケストラとして、年2回の定期演奏会を中心に充実した演奏活動を続けている。

創立当時より「自力演奏を目指す」ことを目標に掲げ、そのために団員一人一人の演奏力向上への努力はもちろん、運営に関わる種々の困難にも対処してきた。仙台市内はもとより、広く宮城県内からも力のある奏者の参加を求めながら編成の充実を図った結果、現在は4管編成の、ほぼ目標に近い団員数に達しつつある。また、90年代からは優秀な客演指揮者の指導を受ける機会にも恵まれ、2010年6月には『宮城県芸術選奨』を受賞するなど、高い評価を受けるまでになった。

団員募集

ヴァイオリン
ヴィオラ
チェロ
コントラバス

【練習日】毎週火曜日 19:00～21:30 【練習場所】仙台市旭ヶ丘市民センター 4階ホール、他
【会費】月額 3,000円 【連絡先】仙台ニューフィル事務局 TEL・FAX: 022-375-9654 (熊谷方)
※公式ウェブサイト(右記QRコード)からメールも可能です。 [TOPページ](#) ▶ [募集](#) ▶ [連絡先](#)

※演奏会の前には、土日に指揮者練習が入ることがあります。
※託児について 対応可能です、お問い合わせください。
※活動内容は Facebook に掲載中です。ぜひご覧ください。



公式ウェブサイト



facebook